

健康と光線

新生児重症黄疸

満期分娩の健康な赤ちゃんでも、生後一週間以内に軽い黄疸を認めることがよくあります。この黄疸は、新生児生理的黄疸と言われ、放置しても自然に治り、何んの後遺症も残しません。これに対し、黄疸の成立機軸は同様でも、黄疸が生理的範囲を超えることが確実に予測される場合や現に高度の黄疸を認める場合、新生児重症黄疸と呼び、放置すれば取り返しのつかない障害を残します。

この原因には、未熟児にみられる特発性新生児黄疸、母児間血液型不適合による溶血性貧血(Rh型やABO型)先天性溶血性貧血などがあります。

新生児重症黄疸に伴う脳障害

新生児重症黄疸が恐れられるのは、重篤な脳障害を一度起せば、死亡率も高く、死なないまでも一生不具瘡疾になるからです。

本症の病態生理を簡略に説明しますと、黄疸の原因のビリル

ビン(胆汁色素)は、ヘモグロビン(血色素)が壊れてできま

新生児重症黄疸について

光線療法の適応になるまでの経緯

すが、通常アルブミン(血清蛋白)と結合しています。ところが、溶血が亢進するが、アルブミンが低値だと、結合できない遊離のビリルビンが生じます。一方、生体には有毒物質が脳に入ることを防ぐ、血液・脳関門と言われる機構があります。遊離のビリルビンが高値になると、特に未熟児では関門の機能が未発達なこともあって、ビリルビンが脳内に移行し、脳神経細胞(脳灰白質)を黄染します。これを核黄疸と言います。

この核黄疸こそ、脳障害の原因ですから、新生児重症黄疸の治療は、神経細胞を障害するビリルビン値の上昇を抑えられれば目的を達します。

交換輸血

一九四六年にワラッシュタイ

発行所

〒153 東京都目黒区目黒 4-6-18

サナモア中央診療所内

サナモア光線協会

年4回発行

会費 年500円

電話 東京(03)

793-5281

712-5322

ンは、前述の治療目的を達成するため、患児の全血を入れ換える交換輸血が有効なことを発表しました。本法は即効性があるため、既に危険な状態の高ビリルビン血症に対する緊急治療には現在も用いられていますが、反面、効果は一時的で、操作も繁雑で新鮮血や人手を必要とするので、比較的限られた病院でないと施行できないのが欠点です。

また、事前に高ビリルビン血症を予防する作用もありません。

光線療法の黎明期

新生児重症黄疸の治療に交換輸血が導入された十二年後の一九五八年、クレマーと共同研究

者は「新生児高ビリルビン血症に及ぼす光線の影響」と題して、光線の可視部にビリルビンを低下させる作用があることを、有名な英文医学雑誌「ランセット」に報告しました。

この報告を受けて、ヨーロッパや南アメリカでは、直ちに新生児重症黄疸の患児に応用した結果、本症の予防ならびに治療に有効で、交換輸血に比べ安全、容易な治療手段として利用されるに至ったのです。

しかし、医学界のリーダー格のアメリカは、クレマーの報告

光線療法の適応になるまでの経緯

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医博 宇都宮光明

リカから有効との報告が出るまでは、一切利用されませんでした。この間にも、光線療法が新生児重症黄疸の死亡率を下げ、脳障害を防ぐことを確認したデータは数多く発表されており、作用機序も解明されつつありました。

そしてついにアメリカでも、一九六八年にルーシーらが、光線療法の効果を報告したので、これを契機に、光線療法は燎原の火の如く世界中に普及し、日本でも利用され始めるのです。

光線療法の現況

新生児重症黄疸は、出生直後の新生児に特有の病態であり、光線療法は新生児の管理上の一手段として入院中に用いられる関係から、一般的には馴染みがないかも知れませんが、今では予防や治療に欠くことのできない治療法として、あらゆる病院で用いられていることは言うまでもありません。

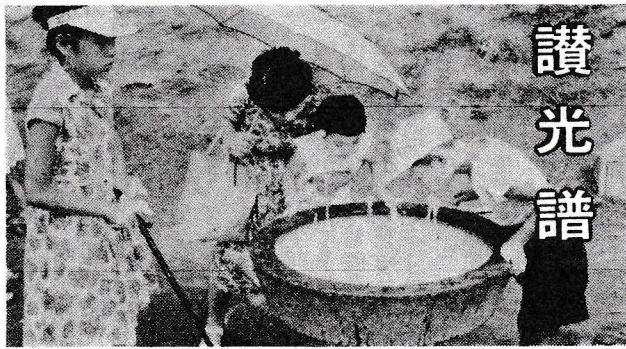
鹿児島で日本で最初の5つ子が生まれた時、国中の人々は固唾を飲んで成り行きを見守りました。5つ子は極小未熟児で生れたため、医師団が総力をあげて救命にあたっていた様子や、日々発育する有様が報道されていましたが、その中にも新生児黄疸の治療で光線療法をうけたことが述べられていました。このように、新生児が健全に発育する上で一役買っているのです。

光線療法は人類創世以来最古の治療法でありながら、最も未開な治療法です。実地臨床上みられる多様な効果も、経験に頼るところが多いため、未経験者は医師も含めて懐疑的にならざるを得ない面もあります。しかし、新生児重症黄疸の治療に光線療法が用いられるまでの概要を振り返ってみて、治る事実より何故治るかの理論を優先させることの誤りを感じるのは、著者の僻目でしょうか。百聞は一見に如かずと申します。色々な病気に光線の効果を試して下さい。



宇都宮義真撮影

水飲み場



讃光譜



人間が恐ろしい

バイキンも恐ろしいが人間にもっと恐ろしい力があります。電車やバスの中には、バイキンが立ちこめています。それを毎日吸いこんで平気で生きている人間は何んという強い動物でありましょうか。毎日ゴミタメをあさって食料を求めている人々の胃袋に至っては又格別であります。

結核病院の医者や看護婦も決して結核で全滅しません。毎日目の中に飛びこんで来るバイキンも悉く涙で殺されています。あるバイキンが申していました。「ペニシリンやストレプトマイシンよりも人間が恐ろしい」と。

医者か易者か

○「アナタの病気はカリエスですよ」

△「……………」

○「アナタは転ぶか打つかしたことはありませんか」

△「そう言えば先日駅でチョット転びました」

○「それです、それがカリエスの原因です」

生きて動いている人で、転ぶか打つかしない人はありません。打つてもたたいてもカリエスにならぬ人はどうしますか。カリエスの原因はそんな簡単なものではありません。

原因の原因

脚気の原因はビタミンBの不

病気と体力

宇都宮義真

足であります。しかしビタミンBの不足の原因は食物ばかりではありません。日に三度同じ食事をしても脚気になる人とならぬ人があります。カルシウムの不足も全く同じであります。カルシウムの不足の原因は、カルシウムを吸収できない自分の体にあります。胃腸病の原因は胃腸薬をのま

ないからではありません。胃腸病は睡眠不足や精神の不安や暴飲暴食等からも起こります。胃腸病には薬だけをのませるのがよい

いか、生活を改善させるのがよいかは常識でも分ります。

風邪引きにアスピリンをのんだり、ゼンソクにセキ止めの注射をしたり、胃ケイレンに痛み止めの注射をすることが病気の治療法だと思っている人があります。病気は段々悪くなっても薬で熱やセキを止めることができます。

人の体

体の中のバイキンを完全に殺す薬は人間の生命をも完全に奪います。

それでは病気は一体どうして治るのでしょうか。

イボや脱腸が何時の間にかなくなることは誰でも知っています。「ヒゼン三年、カサ五年」と

言って皮膚病なども四、五年もすると自然に治ることがよくあります。肺結核や淋疾や青ソコヒや癌なども自然治癒すること

があります。人は皆自分の体に病気を治す

力があります。

光線療法

光線は余りいろいろな病気にきくので不思議に思う人があります。

それは永い間の習慣になつて

いる薬の考え方から来る疑問であります。即ち皮膚病の薬は風邪引きにはきかず、風邪薬は胃腸病にはきかないからであります。

しかし光線療法は体に備っている力を強くする方法でありますから、何病気にも応用できるわけであります。

太陽光線の中には万物を生かす力が含まれていますから、太陽がなくなると生物は一切生きることができません。

生きる力は病気を防ぐ力であり、病気を防ぐ力は病気を治す力であります。光線療法は太陽光線中の治療に必要な光と同じ波長の光を人工的に豊富に発生させて応用するのであります。

「健康と光線」昭和26・8・25発行
「病気と体力」より要約した。

(一) 一九一九年にハルドシンスキーが、目に見えない紫外線がクル病を治す自然の巧妙なからくりを始めて報告して、それまでの百家争鳴のクル病治療法に一応の決着をつけたのであるが、発見の契機は他疾患の治療中に偶々気付いたものであることは、本紙二一四号「抗クル病作用発見の経緯」にも述べたので参照して下さい。

ハルドシンスキーは偉大な先学であったが、それは偶然の端緒から発見した治療効果を、重症クル病患者に応用したことも然る事ながら、即ちこの時に、照射部の皮内に光化学物質が生じ、毛細血管から吸収され、血流を介して遠隔部の骨に作用し、カルシウム塩の沈着を促すとの仮説を立て、ホルモンのような作用機構を正しく予測していたことである。

(ト) ところでハルドシンスキーが存在を予言した物質はビタミンDであり、従ってビタミンDがホルモンの作用を持つことになるが、これを理解するには、ビタミンとホルモンの違いについて一通りの知識が必要である。

(ビ) タミンは、食品に含まれるが体内では合成できない微量栄養素で、補給されないと正常な代謝機能を営めなくなる。この定義から考えると、ビタミンDは主に紫外線の作用で皮内で生成されることから、ビタミンと言いうのは不適当であらう。し

かし食品にも不十分ながら含まれていて、不足によりカルシウム代謝に異常を起すことは、ビタミンとしての性状に合致する。

(一) 方、ホルモンは、内分泌臓器で生成されると直接血液中に分泌され、他臓器の機能に特異的な影響を及ぼす物質のことである。

これをビタミンDに当てはめてみると、皮内で生成され、排出管を経ずに直接毛細血管から吸収され、血中に移行して全身に作用するのであるから、作用機序はホルモンの品からも摂取し得る点は、全く異質である。

即ち、ビタミンDはホルモンの性質を持つ点で他のビタミンと明らかに異なるが、ビタミンとしての特異性もあり、ホルモンとも言い難いため、ビタミンに分類されているのである。

(ニ) のビタミンDのホルモンの作用は特に強調したい。それは繰り返し述べたことであるが、ビタミンD欠乏症はあくまでも光線欠乏症であって、他のビタミン欠乏症の如く栄養不良が原因ではないことを、改めて脳裡に焼き付けてほしいからである。

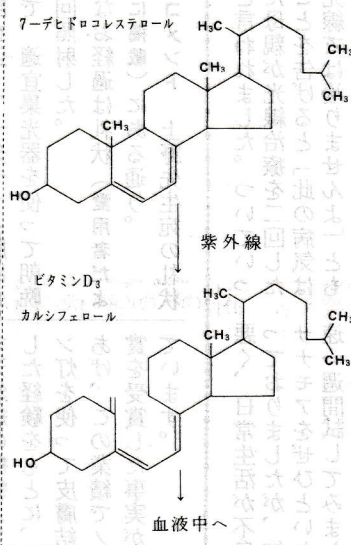
応用光線療法学 (14)

□ ビタミンDの作用 □

その 11

そして、著者がビタミンDを日光ビタミンと言ひ、皮膚で食べると表現するの、ハルドシンスキーが重症クル病患者に光線で治した原点に戻る必要性を痛感するからである。

(第) 一次世界大戦終息後、ニューヨークのアルフレッド・ヘスはハルドシンスキーの報告に接し、太陽光線のクル病に対する治療効果を追試した結果、やはり太陽光線でも治ることを確



皮膚で起きる光化学反応

かめ、前々号に述べたバームの報告を改めて裏付けると共に、低リン食で作成した実験的クル病も同様に治ることを示したのであるが、これ以後、光線の効果は揺ぎないものになった。

(ヘ) スは光線とクル病の関係を研究しているうちに、光線を照射した亜麻や綿の種子で鼠を飼育するとクル病が治る面白い現象に気付いたのである。その後、ハリー・スティーンボック

も飼料に光線を照射するとクル病が治ることを報告し、これを切っ掛けに光化学物質に関する研究は飛躍的に進歩したのである。まずヘスは、動植物界に広く分布するステロールに着目し、植物中の天然のコレステロールや植物ステロール類が紫外線により抗クル病効果を持つことを明らかにし、皮膚でも同様の変化が起こると考えたのである。

続いて一九二七年に、オットー・ローゼンハイムとトーマス・

医学博士
宇都宮 光明

ウェブスターは、植物中のエルゴステロールがエルゴカルシフェロール、即ちビタミンD₂になることを見い出して、光化学物質の一部を突き止めたのである。

(ダ) が、当時は植物で見られた紫外線によるビタミンD₂生成機転と、人の皮内で生成される光化学物質が同じか違うかはなお不明であった。この命題を解決したのは、アイツ、ゲッチンゲン大学の、アド

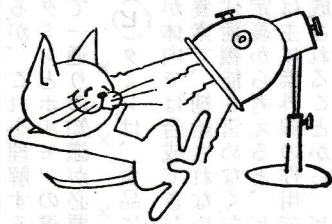
ルフ・ウィングダウスである。一九三六年、ウィングダウスは、皮内の7-デヒドロコレステロールこそホルモン前駆物質(プレホルモン)であって、これに紫外線が作用してカルシフェロールになると、極めて強力な抗クル病効果を持つに至ることを明らかにし、これをビタミンD₃と命名し、人と植物とは反応過程が異なることを証明した。(図)

ウィングダウスは、この業績によって、ノーベル賞受賞の榮譽を受けたのである。

(ビ) タミンDを発見同定した先人に共通の考えは、第一にクル病を光線不足として捉え、第二にビタミンDのホルモンの作用を重視したことである。

ヘスはクル病の本質は氣候病であることを強調し、パークはクル病は脚気や壊血病のようなビタミン欠乏症ではなく、インシュリン欠乏による糖尿病の如き内分泌障害に近似すると述べた。

にも拘らず、ビタミンD欠乏症を栄養不足と曲解し、食品にビタミンD(多くはD₂が用いられる)を添加したり、肝油を服用すれば、光線欠乏が補えるかの曲学を唱える医学者すらいるのであるが、この誤りは次号に述べる。



一治験例報告一

☆気管支喘息

症例 14才、男性

症状 4才頃から喘息発作に悩まされている。現在まで色々な治療をしたが何をしても効果なく、高校進学をひかえて困っていた。

このため、昨年11月にサナモアを購入し、以来毎日の治療を続けている。

療法経過 Aカーボンを使用し、まず腹、膝、喉（第一集光器）足裏、腰、背に各五分照射してから、喉と足裏と背に各五分の照射を朝晩行ったところ、一ヶ月後から発作を起こさなくなり、今春、志望高校に進学した。

コメント 喘息は薬で一時的にえするより、喘息に打ち勝つ健康づくりが先決です。光線は呼吸を深くし、呼吸数

を減じる働きがあります。また曾ってはむしろ禁じられた運動の治療効果も脚光を浴びています。

☆骨折

症例 40才、男性

症状 足の甲の骨折で、最初から光線療法を行った。この症例は一時ギブスで固定したが、歩くのが不自由なのでギブスを取り治療した。

療法経過 BCカーボンで患部に開放で十分、次いで第一集光器を使って足の甲からと裏から各二十分、腹五分照射した。この間、毎日職場で働きながら治療したが、担当医が驚く程早

くかつきれいに治ったと感謝された。

コメント 光線は痛みや腫れに効くだけでなく、骨折の治りをよくします。特に治りの悪いお年寄りで役立ちます。

☆带状疱疹（ヘルペス）

症例 10才、女児

症状 背片側に水疱が出て、痛みを伴う。

療法経過 BCカーボンで、患部を追って十分つと腹部五分で、適宜集光器を使って朝晩二回照射した。

なお経過は礼状（愛用者だよりに掲載）にある通り。

コメント 上野先生宛の礼状

愛用者だより

☆ヘルペスが早く

痕もなく治る

西宮市 白井 愛子

上野先生には孫娘がヘルペスにかかりました時、早速御親切に治療法をお知らせ下さいまして有難うございました。最初お医者様から「ヘルペスは年寄りのかかる病気で、半身に出て、大変痛いのです。まだまだ出ますし、全快してもあとかたは残ります。でも顔でなくてよかったですよ」

☆ヒザ関節炎

が快方に

茨城県北茨城市 大杉信子
80才の私の母はヒザ関節が

に、お医者様から「光線では治りませんよ」と言われたと書いてあります。

失礼ながらお医者様にも光線については素人同然の人は沢山います。

ヘルペスはウィルスが原因です。すから効く薬はなく、痛み止めが使われるくらいですが、光線で抵抗力を高めれば治療期間は短縮します。痕が残らないのもフィンゼンが若き日に日光療法で天然痘の痘痕（アバタ）を治した経験をもとに、後にカーボン灯を使って皮膚結核に著効をあげ、この業績でノーベル医学賞を受賞した事実が如実に示しています。

悪く、日常生活が不自由で困っておりましたが、知人からサナモアをせびといわれ、早速一週間試してみました。すると一番つらいトイレ通いが楽になり、何とかな座も可能になりました。それではと、孝行のつもりで一台治療器を購入、「気持がいい」と母は毎日熱心に照射しています。最近では外にも出歩くことが出来る様になり、近所の評判になっていきます。

今年のお盆は、あきらめていたお墓参りも出来ると、母は楽しみにしている様子です。

即ち治りが早く痕が殆んどなくて当然です。

神戸市 ウエノ光線療法

上野 貞子氏報告

TEL 〇七八—三三三—一三五八

☆虫刺され（ムカデ）

症例 41才、男性

症状 風呂あがり浴衣を着て帯を締めていたら、いきなり首の後ろがチカッとして火を点けられたような激痛が走った。

吃驚してすぐ浴衣を脱いで見たら、ムカデが這っていたので慌てて来院されたが、既に刺された所は真赤に腫れあがり、痛みが強く、悪寒を訴えていた。

療法経過 直ちにBカーボンを使って、首の患部に六十分照射し、他に腰、腹に各十分、足裏二十分で計一時間四十分照射した。

これで痛みも和らぎ、ひとまず安心して翌日まで様子をみることにしたが、翌朝はすっかりよくなり、楽になったので今日は仕事に行きます」との電話があった。

コメント 光線には毒素中和作用があります。痒みも止めますので蚊に刺された時にでも試して下さい。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告
TEL 〇四四—七二二—一五〇六七

日射病と熱射病

原因からみた予防法

間もなく真夏の太陽が照りつける盛夏です。日本は温帯ないし亜熱帯圏にあり高温多湿なため、日射病や熱射病がみられますが、高温環境で激しい労働や運動に従事している時に、頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、筋痙攣などの前駆症状から、視力障害、顔面蒼白、発熱、全身痙攣、意識消失などを訴える時、これら2つの病名は混同して使われています。そこで字引にはどう書いてあるか引いてみました。

「日射病」をみますと、強い日光の直射に長時間さらされている場合に起こる病氣、喝病（エツビョウ）とあり、「熱射病」は、高温の所に長時間いたために体温の調節ができなくなっている病氣と記載されています。この内容は常識的ですが、実際には直射日光にさらされただけでは殆んど日射病は起こさないことが分っています。そこで安心して健康上も日光浴を楽しんで頂くために、その訳を説明します。

日射病は直射日光が頭蓋骨を透過し、脳の中核を過熱して起こすと考えたのですが、生体は恰も水冷エンジンの如く過熱部を循環血液が冷却するので、直射日光のみに起因する日射病は極めて稀です。これに対して原因が夏の炎暑であれ、製鉄所の

溶鉱炉や炭坑の坑内の如き高温環境であれ、暑熱環境の中を動き廻り、体温がうっ積して血液を過熱した結果、脳中枢を過熱する場合には冷却されませんので熱射病を起しますが、このような条件下では日光の直射が病状の悪化を助長し日射病を起します。

この観点から両者を折衷した表現が、昔の日本陸軍にありましたが、「喝病」がこの意味で造られた言葉です。まず陸軍の行軍病提要には、「日射病は太陽の直射に因る頭蓋内容過熱に起因して発生し、熱射病は太陽直射の有無に関せず、筋労と体温うっ積に因りて起る病氣を意味す。軍隊に多発する此等の疾患は、夏季の行軍演習等に最も著明なるが故に、両者を発し易き因子は之を同時に考慮すべく、且其症状相錯綜せるを以て判然と両者を区別すること困難とす。即ち両者を総称して喝病と称し来れり」と記され、軍陣衛生学教程には、「喝病発生の主因は日光の直射に關係せず、高気温の影響と過度の筋労作とに關わる身体の過熱にあり」と一層明確に述べています。

曾ては、暑熱環境のために多量に発汗し喉が渇いても、水は飲まない方がよいと思われていました。これは水分のみを補うと、汗と共に塩分が失なわれ電解質バランスを崩すからです。しかし今では、塩分と一緒に水を飲むように言われるようになったのは、水を飲まないと、血液が濃縮し発汗を抑制して体温のうっ積を起こし易くなるのに対し、発汗で失う塩分を摂りながら水分を補給して発汗機能を保てば、体温のうっ積を防ぐことが分ったからです。

また、もし発病の危険性を示す前駆症状やはっきりした症状があれば、体温のうっ積を速やかに治すため、何かなんでも冷さなければなりません。その上で薄い塩水を与えることが大切です。

夏の日光浴は、寒い冬を健康に過すためにも極めて有益です。そのためにも積極的に日光浴をして下さい。この際、強烈な直射日光が頭部に過剰に照射するのを防ぐために帽子を被り、時々喉が渇いたら天然の果物やスーブのように電解質を含む食品か、水なら一緒に塩分の補給を忘れないで下さい。特に子供は炎暑の中でも激しく動き、ジュースという名の色付き砂糖水や、清涼飲料水という名の炭酸入り砂糖水を欲しがりますが、これらの飲み物は望ましくないので、これは憶えておいて下さい。

サナモア



Sanamo

サナモア光線協会

趣意書

光線療法が、人々の健康に寄与し得ることは疑いないにも拘らず、現状の医療体系は薬物・手術に偏し、光線の効果についての一般の認識はなお十分と言わざるを得ません。

このため、人々の健康を願うと共に光線療法について啓蒙、普及活動を行う目的で、サナモア中央診療所内に、サナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、会員相互の懇親、体験発表意見交換を通して、光線療法についての理解を深めるため「健康と光線」を季刊にて発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 七九三—五二八—
七二二—五三三—